

「財政事情の公表」は閲覧もできます

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆さんの税金などによって賄われています。この内容をお知らせするのが「財政事情の公表」で、年2回行っています。公表は、7月1日および12月1日に市役所、まちづくりセンターに掲示し、掲示した内容は市役所3階財政課、同1階市政情報センター、まちづくりセンター、市HP（「財政事情の公表」で検索）で閲覧できます。また、その要旨を8月・12月号の広報とところざわでお知らせしています。

平成26年 所沢市議会第2回定例会 正副議長が決定

6月6日、平成26年所沢市議会第2回定例会において第59代議長および第60代副議長が選出されましたが、久保田議長が1身上の都合で辞職したため、6月27日、新たに第60代議長および第61代副議長が選出されました。

市長提出議案…21件

「所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例（下記参照）など」、市長提出議案21件は、原案どおり可決されました。

専決処分承認…2件

平成26年度補正予算…1件（一般会計…1件）

条例関係…9件（制定…1件、一部改正…8件）

市道路線の認定・廃止…4件（認定…2件、廃止…2件）

人事案件…4件

議会の同意を得て、次の方々と監査委員、固定資産評価審査委員会

65歳以上の方が多い国民健康保険

国民健康保険（以下「国保」）は、社会保険や共済組合などの健康保険に加入していない方を対象とした医療保険であり、自営業の方や、会社を定年退職した方が多く加入しています。このため国保加入者の年齢構成は、全国的に65歳以上の高齢者世代が多い傾向です。平成25年度末時点でみても65歳〜74歳の割合が最も高く、加入者全体の約36％にあたり、この割合は年々上昇しています。

高齢者は医療費も高い傾向

医療技術の進歩に伴い、高額な医療費が掛かる治療も増えてきました。また、年齢が高くなることで病院に通う回数が増えているため、一人当たりの医療費は、どうしても高齢者になっていきます。そのため高齢者の割合が高い国保は、加入者全体の医療費がかさみ、国保の保険者である市が負担する医療給付費も増大します。

人々との絆が実感できるまちづくり

「所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例」を制定

互助による地域の人のつながり、絆を実感できるまちづくりの中心的な担い手である自治会等。その自治会等への加入と参加を促進することで地域コミュニティの活性化を図り、誰もが安心して快適に暮らすことができる地域社会の実現を目指す「所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例」を制定しました。

条例の概要

自治会等の活性化を推進するために、地域住民の自治会等への加入と参加に関して4つの基本理念を示し、地域住民・自治会等・事業者・市の4つの主体の役割分担や相互理解と協働、市や住宅関連事業者の取り組みを定めています。

特別会計

特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計

会計名	予算現額	歳入	歳出
国民健康保険	370億1,294万円	360億2,497万円	361億8,189万円
介護保険	185億9,242万円	178億 115万円	171億 256万円
後期高齢者医療	35億2,414万円	33億6,943万円	33億5,295万円
狭山ヶ丘土地区画整理	5億 628万円	5億 801万円	2億1,986万円
交通災害共済	4,976万円	4,976万円	3,239万円
合計	596億8,554万円	577億5,332万円	568億8,965万円

事業会計

公共の福祉を目的として企業を営営する独立採算の会計

区分	予算現額		執行済額	
	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)
水道事業	収益的収入	63億2,794万円	65億1,783万円	
	収益的支出	60億 88万円	57億9,615万円	
	資本的収入	1億4,167万円	2億 888万円	
	資本的支出	28億8,557万円	22億2,225万円	
下水道事業	収益的収入	50億7,544万円	52億7,746万円	
	収益的支出	50億7,544万円	48億 431万円	
	資本的収入	10億7,789万円	10億3,443万円	
	資本的支出	27億3,902万円	25億5,495万円	
病院事業	収益的収入	18億1,401万円	16億7,242万円	
	収益的支出	19億7,238万円	17億6,471万円	
	資本的収入	0万円	0万円	
	資本的支出	8,985万円	8,579万円	

▲収益的収支…事業活動に伴って生じる収入と支出
▲資本的収支…建物や機器などの資産の購入・売却による収支と支出

一般会計

福祉や教育、道路整備、議会運営など基本的な経費の会計

歳入決算額 914億 110万円

(前年度比: 10億 4,216万円 《1.2%》増)

歳出決算額 874億 8,792万円

(前年度比: 1億 7,076万円 《0.2%》減)

歳入歳出予算現額・決算額推移

区分/年度	歳入歳出予算現額		歳入		歳出	
	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)
21	927億4,857万円	4.5%	909億4,872万円	2.4%	875億1,146万円	7.5%
22	931億3,316万円	0.4%	904億7,029万円	△0.5%	877億7,023万円	0.3%
23	925億1,661万円	△0.7%	906億3,332万円	0.2%	880億8,153万円	0.4%
24	912億7,168万円	△1.3%	903億5,894万円	△0.3%	876億5,868万円	△0.5%
25	910億4,852万円	△0.2%	914億 110万円	1.2%	874億8,792万円	△0.2%

平成25年度 所沢市の財政事情

一般会計の平成25年度の決算は、24年度と比較して歳入で10億4,216万円(1.2%)の増、歳出で1億7,076万円(0.2%)の減となりました。

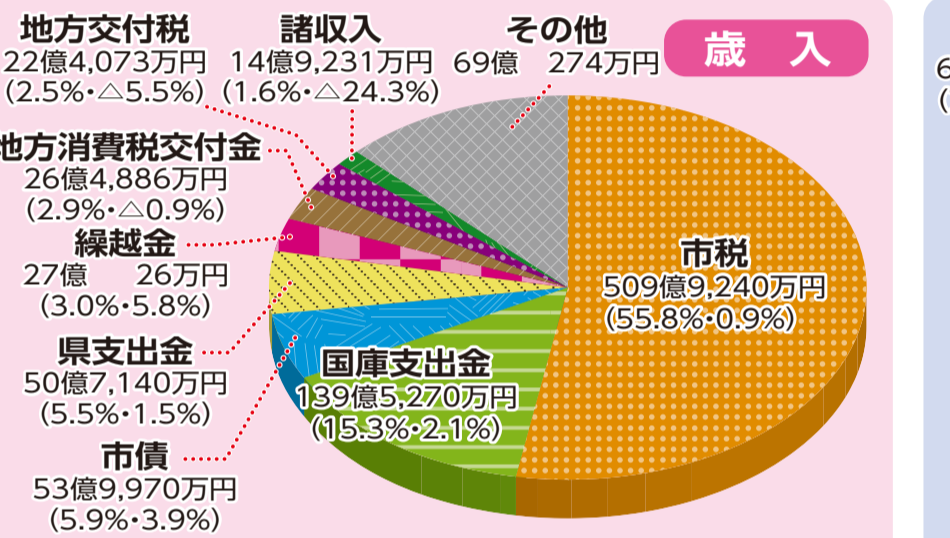
歳入は、地方交付税などが減額となった一方、市税や国・県支出金などが増額となりました。

歳出は、公債費や消防費などが減額となった一方、民生費や土木費などが増額となりました。

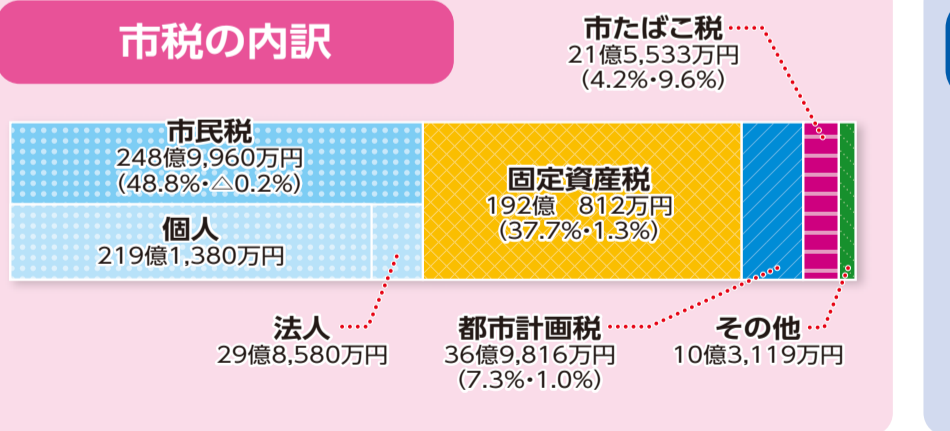
高齢化の進展で社会保障費が増え続けている中、今後も歳出全般について見直しを図り、第5次所沢市総合計画に定める将来都市像「所沢発の多さと笑顔にあふれる自立都市」の

実現に向け、効果的・効率的な財政運営に努めていきます。

この頁に掲載している金額は、原則として1万円単位に四捨五入しています。また各グラフのカッコ内の数値は左が構成比、右が前年度に対する伸び率です。



歳入の区分	内容
市税	市民税、固定資産税などの皆さんが納めた税金
国庫支出金	国からの補助・負担金など
市債	国や金融機関から借り入れたお金
県支出金	県からの補助・負担金など
繰越金	前年度から繰り越されたお金
地方消費税交付金	消費税の一部として県から交付されたお金
地方交付税	市町村間の財源の均衡を図るための国からのお金
諸収入	雑入などほかの収入科目に含まれない収入
その他	使用料及び手数料、繰入金など



基金の状況

財政調整基金ほか全15基金
合計額 72億6,905万円

特定の目的のために資金を積み立てたり、運用したりするための市の貯金です。

市有財産の状況

土地…2,793,218.39㎡
建物…690,996.15㎡

市が保有する土地・建物の財産です。



市債現在高の状況

一般会計…563億3,490万円
特別会計…16億5,693万円
水道事業会計…46億4,798万円
下水道事業会計…206億5,944万円
病院事業会計…2億3,212万円
合計 835億3,137万円

市債とは、道路建設や施設の建造など一度に多くの資金を必要とする事業を行うために、市が国や金融機関などから借り入れたお金です。

早期な国保財政の立て直しが必要

国保財政は、国保加入者からの保険税や国、県からの補助金などで運営するのが本来です。しかし、それだけでは足りず、環境・福祉・教育や街づくりなど市政全般に使うために納めていただいている市税などを補填しながら運営しています。

平成25年度は国保運営のために積み立てていた基金も約7億円の投入しましたが、最終的に歳入不足が発生しました。平成26年度予算では、赤字補填として、前年より約4億2千万円増額した約11億2千万円を一般会計から繰り入れることになりました。

一般会計も社会保障費の増大などで決して余裕がある状況ではありません。ジェネリック医薬品の利用や疾病予防のさらなる促進などによる歳出の抑制、収納率の向上や国保保険の見直しなどによる歳入の確保の両面から、国保財政の立て直しが必要です。